

館 報

おみ

5月号
No.686

2024. 5.25 (令和6年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲心にのこる音色 ～麻績保育園コンサート～（5月15日撮影）関連記事 4 面

分館のお宝発見

分館にある珍しいお宝やここにしかないものを紹介します。地元の分館で紹介して欲しいものがありまして、公民館までご一報ください。

市野川の獅子頭

村の無形文化財である市野川神楽の獅子頭。木彫、漆仕上げ。雄獅子、雌獅子があり、いつ頃作られた物かはどちらも不明だが、雄



▲5/5 聖高原弁財天祭りにて

獅子は平成五年に塗り直し、幌（ほろ）の新調がされており、舞い手の久保田福登さんによれば、「以前の幌には昭和九年と書かれていた」とのこと。九十年前に存在したことは事実のようだ。なお、現在祭事等で使用されているのは雌獅子の方である。



▲舞い手は横棒を口でくわえて演じる



▲右が雄獅子、左が雌獅子

本町公民館の多目的トイレ

「ハートビル法」。多くの人が利用する公共施設を障がいのある人やお年寄り・小さなお子さん連れも利用しやすい場所にしようとい九九四年に法律が制定されました。現在は内容が徐々に直され、「バリアフリー新法」に変わってきていますが、様々な施設でバリアフリー化が進められています。

本町地区は県道の拡張工事です。トイレの位置を見直す必要があり、若者定住促進住宅入居者からの意見が採用され、村内の地区公民館



▲内装



▲入口

としては初めて、多目的のトイレができました。小さなお子さんが増えてきた地区のため安心して使ってもらいたいです。

紙芝居を楽しむ集い

紙芝居を楽しむ会が、五月二十三日、麻績学舎（旧麻績小学校北校舎）で開催されました。

麻績村と千曲市の愛好家が集まり、麻績村は「弥助の唄」を含んだ四作、千曲市は「曾根堂の不動滝」と「戸倉温泉の水天宮」の二作の計六作が披露され、約二十人の参加者が紙芝居を楽しみました。定期的に無線放送で開催のお知らせをするので、ご参加ください。



▲伝承をもとに制作された創作紙芝居



我が家では台所のゴミをコンポストで堆肥にして畑に入れて、米ぬかや刈った草を入れるのは「思い付いた時」とかなりアバウトだ。ただ生ゴミの内容にはルールがある。分解しにくい物はいれない。たとえば貝殻、貝塚なんて物が残るくらいだから容易に分解しない。それから肉の太い骨、畑から出て来ると分かっていてもギョッとするからだ。とう

もろこしの芯や栗やピーナッツの殻もいつまでも形を留めているので入れない。竹の皮や笹や柿の葉など、昔から食品を包むのに利用されて来た物も除外、抗菌作用があつて分解されにくいからだ。でもそれ以外のたいの物はコンポストに放り込んでしまう。有機物が微生物の力で土に還る、そして土壌の力となって作物を实らす。なんて良く出来た仕組みなんだろう。今年も夏野菜の季節がやってきた（これは我が家流なので生ゴミを回収に出している方は、村の指示に従ってください）。

清水大選手らに 激励賞を授与

麻績村体育協会では五月十六日、国民スポーツ大会で優秀な成績を収めた清水大選手に激励賞を授与しました。

この賞はスポーツ育成を図るため、県大会以上及びそれに準じる競技会で優秀な成績を収めた麻績村民に対して、村体育協会が表彰するものです。

清水選手は、山形県で開催された第七十八回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会のジャイアントスラローム青年男子Bで七位入



▲激励賞おめでとう

賞という優秀な成績を収められました。

また当日の出席は叶いませんでしたが、令和五年度に激励賞に該当した皆さん（敬称略）は次の通りです。

◎宮下桜巳都

第六十五回小中学生全国空手道選手権大会予選兼長野県空手道選手権大会（塩尻市）

形 男子小学三年生の部門 第三位

◎黒岩千隼

第十八回北信越小中学生空手道選手権大会（石川県）
形 男子中学一年生の部門 優勝

◎黒岩昇矢

第十八回北信越小中学生空手道選手権大会（石川県）
組手 男子小学三年生の部門 第二位

◎刈間拓己

令和五年度全国高等学校総合体育大会長野県大会（長野市）
ハンマー投げ 第三位

聖高原で

インド文化を体験

ナマステ信州麻績村

長野県初となるインドフエスティバル「第一回ナマステ信州麻績村」が、五月十八日に聖高原スキー場で開催されました。



▲皆さん調理工程に興味津々

高地区で民泊を経営している宇都宮静さんを中心に「ナマステ信州麻績村実行委員会」が発足され、大都市圏で人気があるインドのイベントを、麻績村という地域に合わせた形で実施しました。

当日は天候も良く、関東や東海圏といった県外から

二〇〇人以上の方が参加され、料理ができる工程を楽しみながら、本場の味に舌鼓をうっていました。

親子や鉄道ファンが 集まった鉄道まつり

聖博フェスティバル鉄道まつりが、五月五日に聖博博物館で開催されました。

ボランティアグループによる補修が進んだ蒸気機関車D51の運転席公開、鉄道ジオラマや麻績駅で使われていた物品の展示があり、多くの親子連れや鉄道ファンが集まり、大変にぎわっていました。



▲D51の普段では見られない部分も公開

大量の鯉のぼり現る

ガルテンまつり

こどもの日ガルテンまつりが五月五日にシェーリングガルテンおみで開催されました。

芝生ひろばでは、ジャグリングやバルーンアートを行う大道芸、マルシェやワークショップが出店がされていました。



▲空を舞う鯉のぼり

今年も家庭から集められた鯉のぼりが泳いでいて、当日は程よく風もあって子どもたちは一生懸命に鯉を追いかけて楽しんでいました。

麻績学級が 開校しました

第一回麻績学級の開校式を、五月十六日に麻績村地域交流センターで開催しました。



▲シンガーソングファーマーの伊藤快さん

第一部は、麻績村長から令和六年度の村政について講話があり、第二部は、麻績村で地域おこし協力隊として活動し、退任後の現在は、リング農家を営む傍ら全国各地でライブ活動する「シンガーソングファーマー」の伊藤快さんによる歌とギター演奏という二部構成でした。



▲よし！釣れた！

オリジナルの曲に加えて、アレンジされた童謡「ふるさと」と「夕焼け小焼け」が披露され、参加された方々は熱心に聴き、口ずさむなどしていました。

早朝から釣果を競う へら鮒釣り大会

第三十四回聖湖へら鮒釣り大会が五月十九日に聖湖で開催されました。県内外から約八十名の太公望が集まり、早朝から午後二時の納竿までの長時間、釣果を競っていました。

結果は次の通りです。

一般の部（敬称略）

優勝	勝 片桐 毅（山ノ内町）	17・50 kg
準優勝	丸山善光（中野市）	16・20 kg
第三位	三枝 豊（山形村）	16・20 kg
第四位	丸山仁史（長野市）	14・50 kg
第五位	毛利次雄（箕輪町）	12・70 kg
第六位	竹井秀行（松本市）	11・60 kg
第七位	北原智之（塩尻市）	11・50 kg
第八位	児玉良太（山ノ内町）	9・20 kg



▲栈橋に多くの太公望が集まりました

レディースの部

第九位	佐藤弘城（飯山市）	9・00 kg
第十位	宮沢純二（天王）	9・00 kg

ジュニアの部

優勝	勝 佐鳥洋子（埼玉県）	3・00 kg
優勝	勝 久保田千翔（千曲市）	0・60 kg

大型賞

優勝	勝 成澤 進（佐久市）	37・50 cm
----	-------------	----------

上位入賞の皆さんおめでとうございます。

演奏に合わせて みんなで踊ろう

ハンガリーを代表するバイオリニストでハンガリー文化大使でもあるオラー・ヴィルモシュさんと一般社団法人日本弦楽指導者協会理事長の立木茂さんにより、バイオリンとピアノによるコンサートが五月十五日に麻績保育園で開催され、保育園児と保護者が参加しました。（表紙）



▲みんなで踊ろう♪

クラシックから子どもたちが知っているアニメの「となりのトトロ」まで三十分にわたり、演奏されました。

参加者はクラシックの演奏の際は静かに聴いていましたが、そのような状況にお二人は「音楽は楽しむもの、演奏を聴いていて歌いたくなったら、歌ってもいいし、踊ってもいい」という説明があったので、子どもたちは演奏に合わせて踊りはじめました。

この後、シェーンガルテンおみでも、お二人のコンサートが開催され、多くの方が演奏に聴き入っていました。

麻績小学校

四年生の学習から

四月半ば、高速道路沿いの桜並木で花見をすることになり、みたらしだんごを作って花見に行つて来ました。

美しく咲いた桜の下で花見の時間を楽しむことができました。しかし、この花見が意外な方向に…。

子どもたちは、河川敷に落ちているゴミに気がつき、自発的にゴミ拾いを始めました。拾ったゴミは学校に持ち帰り、翌日、ゴミの分別をし、麻績川の河川敷にはどんなゴミが多かったのか調べました。結果は、プラスチックゴミが一番多く、全体の五十五%を占めることが分かりました。



▲桜の下で記念撮影



▲どんなゴミがあるのかな？

その後、麻績川はどこへ通じているのか調べると日本海へつながっていることを見つけ、麻績川からゴミが流れると日本海へ影響を与える可能性があることに気が付きました。

また、日本海の砂浜には本当にゴミが落ちていのか担任が砂を集めてきて、砂の中からピンセットでゴミを取り出す活動をしました。その結果、海の砂の中には細かくなつたマイクロプラスチックと呼ばれるゴミが含まれていることが分かりました。

故郷の環境を守ることが地球環境を守る第一になることを学んだ子ども達、これをきっかけにSDGsに関心を持ったようで、今後もクラスで学んでいく予定です。

定です。

筑北中学校

部活に入つて

一年 白井晴香
私は、吹奏楽部に入りました。その理由は、小学校の頃に金管バンドをやっていたからです。

元気通信!!

～今月の小・中学校～

もともとユーフォニアムのパートリーダーをやつていて、とても楽しかったので、中学校でも継続していきたいと思いました。小学生の時からずっと憧れていた吹奏楽部に入部できてとても嬉しいのです。

部活では、まだ楽器が決まっていなくて、今はアルトサクソとテナーサクソのどちらも練習しています。どちらの楽器になるのか、とても楽しみにしています。



▲日々練習に励んでいます

先輩になつて

二年 池田レニックス
僕は今年度から二年生になり、初めての先輩ができて、一か月以上たちました。それで感じたことがあります。

それは、先輩になると後輩のお手本になるので、僕たち先輩は頼れる姿にならないといけないということです。なぜなら、一年生は、先輩の姿を見て、学校生活や委員会の仕事などを学んでいくからです。なので、今は、クラスのみんなが授業の態度や生活を改め、先生などに迷惑をかけないよう呼びかけ合っています。そして、先輩に頼られる姿になるために、僕も三年生の先輩たちの姿を見ながら努力しています。

修学旅行に行つて

三年 飯森海

私たち三年生は、四月十四日から十六日に奈良・京都へ修学旅行に行きました。一日目は、奈良の歴史的建造物を見学しました。私は特に東大寺の大きさと迫力に驚きました。木で造られたその姿は、凛々しく美しいものでした。

二日目、三日目は、京都の国宝や世界遺産を回りました。京都では、特に龍安寺の石庭が大変印象に残りました。どこから見ても全ての石が見えないという、なんとも不思議な気がしました。

この三日間で学んだことや思い出を、今後の生活に生かしていきたいと思いました。



▲京都清水寺にて

相撲と麻績の事跡

(その六)

旧麻績・日向
小学校と相撲

麻績小学校百年史沿革年表によると、昭和十四（一九三九）年五月二十九日「小学校武道指導要目」が公布される。

これに対応して、日向小学校では、昭和十四（一九三九）年七月四日体操科に相撲・武道が採用される。麻績小学校では、昭和十五（一九四〇）年八月二十七日、大相撲と同様の相撲場四本柱上棟式が挙行されている。

昭和十六（一九四一）年四月一日には、「国民学校令」施行される。同年十二月八日「宣戦大詔」が発せられ、第二次世界大戦となる。

昭和十七（一九四二）年一月九日に「国民報国令施行規則」に基づき学徒出動命令が出され、十八年十二月一日には学徒が出陣している。

小学校における相撲の採用は、学徒出陣に備えた、体力の増強と尚武の気風を養う必要があったためと考えられる。

明治町少年会
相撲大会について

平成二十（二〇〇八）年発行の明治町百年史に、昭和二十五（一九五〇）年、昭和二十六（一九五一年）、昭和二十七（一九五二年）に繭糸前庭で行われた「少年会相撲大会」の写真三枚が掲載されている。

正面建物の軒には、明治



▲少年会相撲大会（昭和25年）（出典 明治町百年史）



▲少年会相撲大会（昭和27年）（出典 明治町百年史）

町の横幕を掲げ、土俵が築かれ、竹の御幣と昭和三（一九二八）年明治神宮の新設に伴い新調された大太鼓が写っている。

愉快なことは、禪姿の少年力士の胸に「しこ名」が大きく墨書きされていることである。

麻績村の相撲史にとって唯一の貴重な写真である。

「繭糸」は、大正十五（一九二六）年「匿名組合麻績繭糸取引所」が創立され、繭の共同販売を行う取引市場として使われ、駅前にあった建物である。養蚕系史

上、貴重な遺産であった。

昭和になって、「繭糸」は明治町唯一の寄り合い場所、明治神宮祭典の興行場、宴会場、無声映画館等として、公民館が建設されるまで使われた。

前庭は子供の少年会相撲大会、遊び場所でもあった。

「非営業興行許可願」
について

明治町分館発行の明治町通信「てえしやば」、平成二（一九九〇）年七月二十五日発行第七十五号「明治町百年史縮刷版」に掲載されている。

昭和四（一九二九）年七月三十日に興行された、明治神宮祭典（御大典）余興のための許可願一通と会場図面二枚である。

許可願は、総代代表が発給し、宛名は、松本警察署長赤羽□□殿である。

許可願の要旨は、場所・日付・事由である。図面は、麻績駅前北東元繭糸で「非営業仮設興行場」を中心に全体図及び「仮設興行場平面図」が添付されている。

興行場は、興行き十二間とあり、正面には舞台が設けられ、男子席と女子席が左右別々になっているのが珍しい。

江戸時代、祭礼・縁日・奉納相撲には、喧嘩が発生したという。昭和初期にもこの風潮があったのだろうか。

昭和四（一九二九）年度明治町祭典決算記録には、支出として、芝居買入代五十円、引き幕御札一円五十銭、芝居電灯料四円、芝居許可届一円十銭（松本警察署）、公会場掃除費一円五十銭とある。

非営業であるので、木戸銭を払わなくても入場できる興行で、祭典には付き物の余興でもあるにも関わらず許可申請が必要であった理由、また「一円十銭の芝居許可届」の費用の用途は定かではない。新史料の発出に委ねたい。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲お好みのデザインはありますか？

新しい利用者カードのデザインは四種類!!

新利用者カードは、麻績村のマスコットキャラクター・おみぽんをモチーフにした可愛らしいデザインになりました。

現在お持ちの利用者カードも継続して利用できますが、新しいカードへの変更も可能です。

お手持ちのカードの傷みが気になる方も、気分を一新されたい方もどうぞご利用ください。



▲柄は2種類です

オリジナルトートバックプレゼント中♡

トートバックは、本の貸し出し利用の方に、お一人様一枚限定でプレゼントいたします。

村民全体の財産でもある図書館資料を大切に扱っていただく願いを込めてお配りします。

ぜひご来館ください(枚数限定先着順で配布しています。終了している場合がありますが、ご了承ください)。



二十周年記念 写真展開催中

七月二十三日火曜日まで

皆様のご協力と笑顔で支えられた二十年の記録をご覧ください。写真展です。



▲2011年聖高原駅に設置した「かりん文庫」



▲2014年図書館10周年からスタートしたセカンドブック

五・六年生を対象に、狩猟教室が行われました。四月に交流センターで

麻績小学校図書館便り



▲これで、シカの年齢がわかるよ



▲難しい言葉だけど、わかるかな

友会の活動を紹介するイベントが開かれましたが、そこで展示された毛皮や資料等をもとに、鳥獣保護管理員の新海秀幸さんが児童向けに分かりやすく解説してくださいました。

猟銃で撃って動物の命を奪うことは「かわいそう」と感じる子もいましたが、畑を荒らされる農家の方にとっては深刻な問題で、増

4月の図書館

来館者数 409人
貸出冊数 827冊
ご来館ありがとうございます。



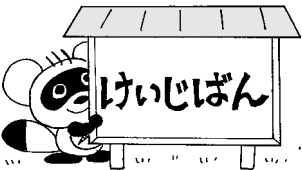
農山漁村文化協会編



▲ふわふわだ！

え過ぎてしまったニホンジカやイノシシを捕獲して、数を管理していくことが大切だということを知り、改めて猟友会の活動への理解が深まりました。

今回のことは、大人でも知らないことが沢山あり、有意義な地域学習となりました。



放送大学入学生
募集のお知らせ

放送大学は、十月入学生を募集しています。

幅広い世代の約八万五千人が、大学卒業や学びの楽しみといった様々な目的で学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学といった三百以上の授業科目があり、テレビやインターネットで一科目から学ぶことができます。

第一回の出願期間は、令和六年八月三十一日(土)、第二回は令和六年九月十日(火)までです。

資料は無料で、請求先は次のとおりです。

放送大学 長野学習センター
☎〇二六六・五八一・三三三二

全国一斉不動産
表示登記無料相談会
(松本会場)

土地家屋調査士が不動産に関するご相談にお応えします。相談内容は、自分の土地の面積を知りたい、建物に関する登記等の悩み、お隣との境界を確認したい等です。

詳細は、次のとおりです。ご希望される方はお申し込みください。

●日時

令和六年七月二十七日(土)
午後一時三十分～四時三十分まで(受付は、午後四時まで)

一件についての相談時間は三十分まで

●会場

松本市中町・蔵シック館

●予約・お問い合わせ先

長野県土地家屋調査士会中
信支部
☎〇二六三・三三六・一五九〇

受付時間は、午前九時～
午後二時まで
(金曜日は正午まで、祝
祭日を除く)

公民館行事の予定

●公民館音楽鑑賞会

日時 六月三十日(日)

午後二時から

演奏・麻績村消防団ラッパ
班

・津軽三味線 藤田流
名取 上條正明さん

・長野県松本文化会館
付属管楽アンサンブル

会場 麻績村地域交流セン
ター

●第三回麻績学級

日時 七月十八日(木)

内容 千曲の里を知る②

大雲寺・霊浄山

講師 聖博物館名誉館長
宮下健司さん

備考 千曲市への移動はバ
スを使用、時間等の
詳細はチラシを配布
します。

●第三回ふれすぽ

日時 七月二十日(土)

午前九時三十分から

内容 コーデイネーショ



▲4/29 村宝十一面観音立像お花まつり法要



▲4/29 聖高原駅構内聖観音お花まつり法要

講師 ントレーニング
麻績村スポーツ推進
委員他
会場 麻績村地域交流セン
ター



▲5/3 福満寺春の例大祭



▲5/18 第5回善光寺街道を歩く旅

ご冥福を祈る
玉井 逸子 87歳 下井堀
續麻 勇子 86歳 下田
塚原ケナミ 90歳 明治町